

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

事業計画及び成長可能性に関する説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2026年9月18日

- 
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 当社の強み
4. 成長戦略
5. 中期経営計画
6. 経営上のリスクと対応策
7. Appendix

会社概要

社名	フィーチャ株式会社
代表者	曹 暉（代表取締役社長 CEO 兼 CTO）
住所	東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 19F
創業年月	2005年 8 月
資本金	383,506,174円
上場証券取引所	東京証券取引所 グロース市場（コード4052）
従業員数	44名
事業内容	AI画像認識システムの開発・販売



Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

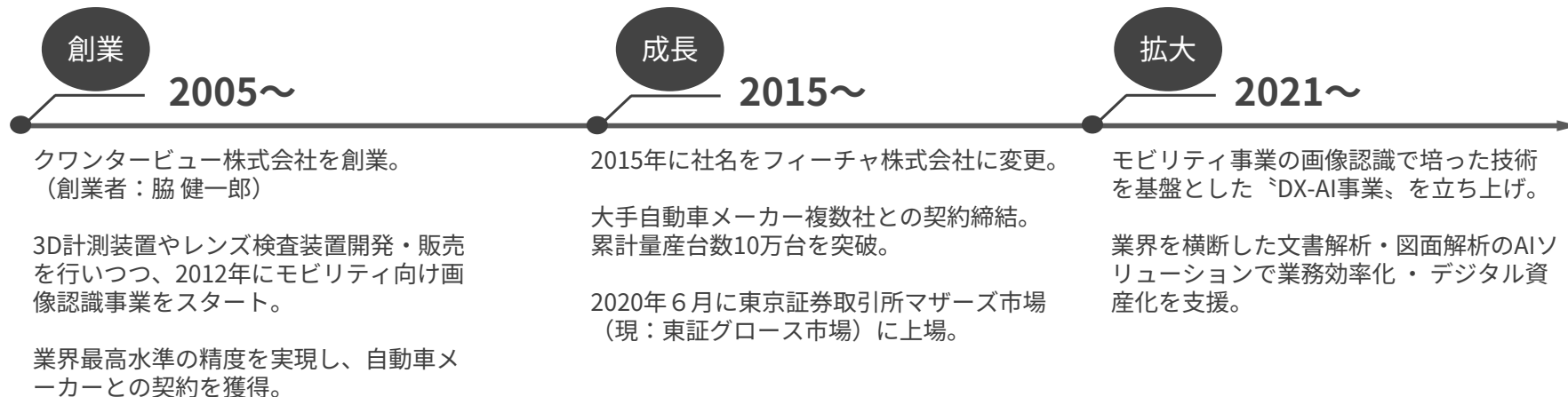
当社は“Make Things Intelligent”を掲げ、AIを社会実装することで安全・快適・効率的なスマート社会の実現に貢献してまいります。

おかげさまで、高い精度のみならず実装性の面でもお客さまから高い評価をいただき、日本国内外で複数の量産採用実績を積み重ねてまいりました。その結果、当社ソフトウェアライセンスの累計搭載台数は390万台を突破しております。

今後は、生成AI（LLM）を含む先端領域への研究開発投資を加速し、車載分野でのパートナーシップを一段と強化します。主力のモビリティ事業を軸に収益基盤を拡大するとともに、企業の業務変革を支えるDX-AIソリューションを開発・提供し、多様なユースケースへの展開を進めてまいります。

経営においてはスピードと透明性を重視し、中長期の企業価値向上を最優先に取り組みます。株主・投資家の皆様のご期待に応えるべく、成長投資の重点配分、技術優位性の持続、収益性の改善を両立させ、持続的な成長を実現してまいります。

車載分野で磨いた"画像認識技術"をベースに様々な業種の業務効率化を支援。



Mobility Solutions



ADAS

(先進運転支援システム)



DMS/OMS

(ドライバー／乗員監視システム)

DX-AI Solutions



AI-OCR

(文書解析AI)

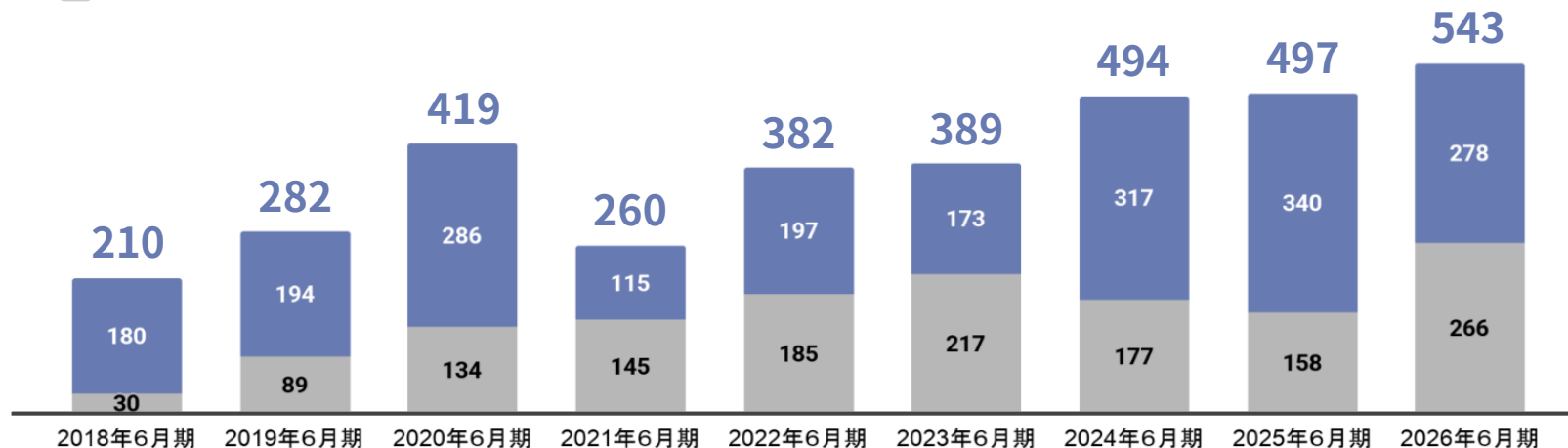


Drawing-AI

(図面解析AI)

■ 受託開発収入
■ ライセンス収入

(単位：百万円)



Summary

・ **ライセンス収入開始**
初のライセンス収入

・ **株式上場**
2020年6月：東証マザーズ
(現東証グロース) に上場

・ **コロナによる売上減**
一時的に受託開発収入が減少

・ **ボッシュとの資本提携**
ボッシュ株式会社と資本業務
提携契約を締結

・ **DX-AI Solutions開始**
AI-OCR(文書解析AI)展開

・ **売上高の安定的成長**
共同開発案件により受託開発収入が増加
直近で中断案件による減収もあったが、
ライセンス収入の増加でカバー

・ **DX-AI Solutions基盤構築**
図面解析AI「Drawing-AI」をリリース
製造業を中心に有償PoCを複数獲得

- 
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 当社の強み
4. 成長戦略
5. 中期経営計画
6. 経営上のリスクと対応策
7. Appendix

2つの事業領域を両輪とすることで、品質と拡張性を両立。
業界特化型ソリューションのラインナップを拡充。

Mobility Solutions

高品質な画像認識技術を活用し、
先進的な車載カメラシステムの開発・量産を支援

ADAS

前後左右斜めの死角を網羅する物体検知。前方車・歩行者衝突、交通違反などの危険運転をリアルタイムで判定し、事故防止を支援。

DMS/OMS

ドライバーの運転状態や乗員を監視し、危険運転・事故防止・子ども置き去り防止などが目的。顔認証と組み合わせることで、盗難防止、事業者様の運行管理に活用可能。

DX-AI Solutions

生成AIと画像認識技術を組み合わせ、文書・図面を
高精度に解析。柔軟なカスタマイズで業務効率化を支援

Drawing-AI

電子回路図・建築図面・金型図面など、各図面の検図自動化、図面情報のデジタル資産化を支援。

AI-OCR

手書き・活字などあらゆる非定型文書を自動認識。目視確認やデータ入力の工数を大幅に削減。

DXコンサルティング

※旧AIコンサルティング・AIインテグレーションと統合

車載領域で培った画像認識技術を応用し、AI導入の上流から下流までトータルサポート。幅広い業務領域の効率化を支援。

2つの事業を支える当社の基礎技術

画像認識

コンピュータビジョン

LLM

VLM

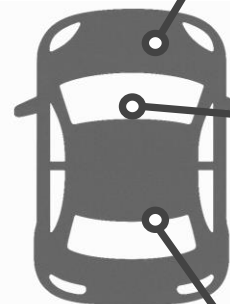
ディープラーニング

エッジAI

Agent

アプリ開発

総合的な車両・乗員保護を実現する先進安全技術を提供。独自のアルゴリズムにより、特別なハードウェアを必要とせず、車載器の汎用CPU上で高速・高精度なリアルタイム処理を実現。



ADAS 先進運転支援システム

[概要]

車外環境をリアルタイム解析する物体検知・危険判定ソフトウェア。

[目的]

歩行者・車両との衝突回避、交通違反検知、未然の事故防止。

[主な機能]

- ・ 前方車衝突警報：先行車・対向車の区別と認識
- ・ 歩行者衝突警報：歩行者・自転車などの相対距離測定
- ・ 車線逸脱：車線・路肩の検知と的確な警告
- ・ 標識検出：標識解読と交通違反検知

DMS ドライバーモニタリングシステム

[概要]

車内カメラでドライバーの顔・視線・骨格などの運転状態をAI監視。

[目的]

居眠り・危険運転の防止、盗難防止、事業者向け運行・安全管理。

[主な機能]

- ・ 危険運転モニタリング：スマホ操作・飲食・タバコなどの挙動検知
- ・ 注意散漫モニタリング：顔向き判定による注意喚起
- ・ ハンドジェスチャー認識：キャビンカメラで手領域を抽出し、視線移動を抑えた操作による運転負荷低減

OMS 乗員モニタリングシステム

[概要]

車内カメラで同乗者の体勢、体格、推定年齢などの状態をAI監視。

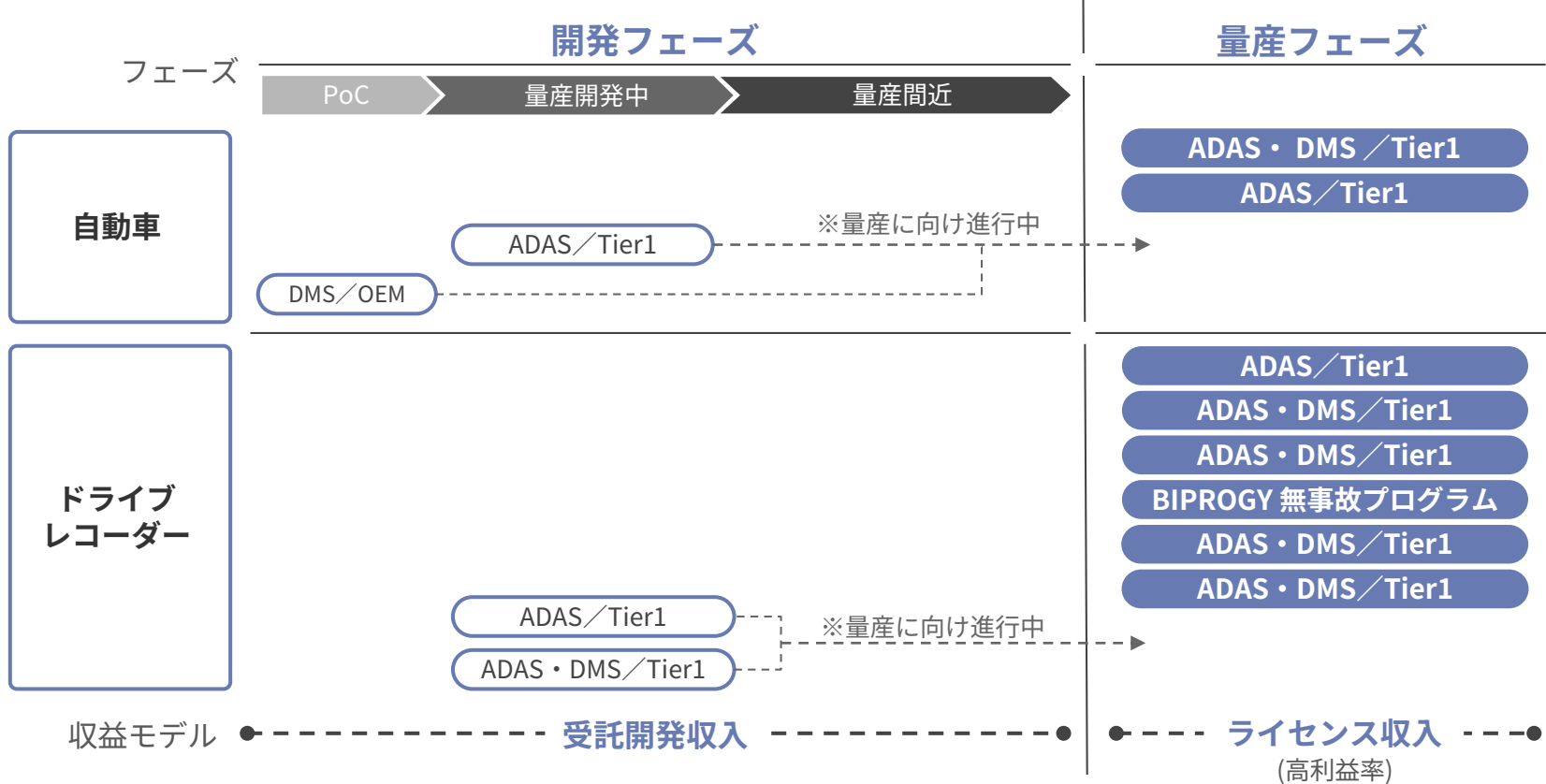
[目的]

子どもの車内置き去り防止、エアバッグの最適制御、乗員の安全性向上。

[主な機能]

- ・ こどもの存在検知：年齢推定による置き去り防止
- ・ 乗員姿勢検出：エアバッグ効果を阻害する危険姿勢の検知
- ・ 乗員体格分類：体格・体重・着座姿勢に基づく安全装置の最適制御

量産フェーズ移行に向けた案件が進行中。



生成AI(LLM)と画像認識技術を組み合わせ、業務効率化を支援。



図面解析AIツール **Drawing-AI**

図面を”使える情報”へ。検図を自動化

↑ 対象：回路図、建築図面、金型図面など

🔗 構成要素・接続関係の自動解析と図示

🔍 AIによる要素解説・要約

🛡️ 寸法差異や欠落の自動アラート・リスト化

📁 出力：CAD/CSV/JSON/HTMLなど

手戻り大幅削減・作業時間の大幅短縮



文書解析AIツール **AI-OCR**

複雑な非定型文書も、高精度で自動認識

📄 対象：注文書・請求書・アンケートなど

⚙️ 読取領域の事前設定・ルール設定が不要

🧠 生成AI(LLM)による柔軟な情報抽出・構造化

📊 表形式データの読み取りと自動項目特定

📁 出力：Excel・既存システム連携

入力作業削減→業務効率の飛躍的向上

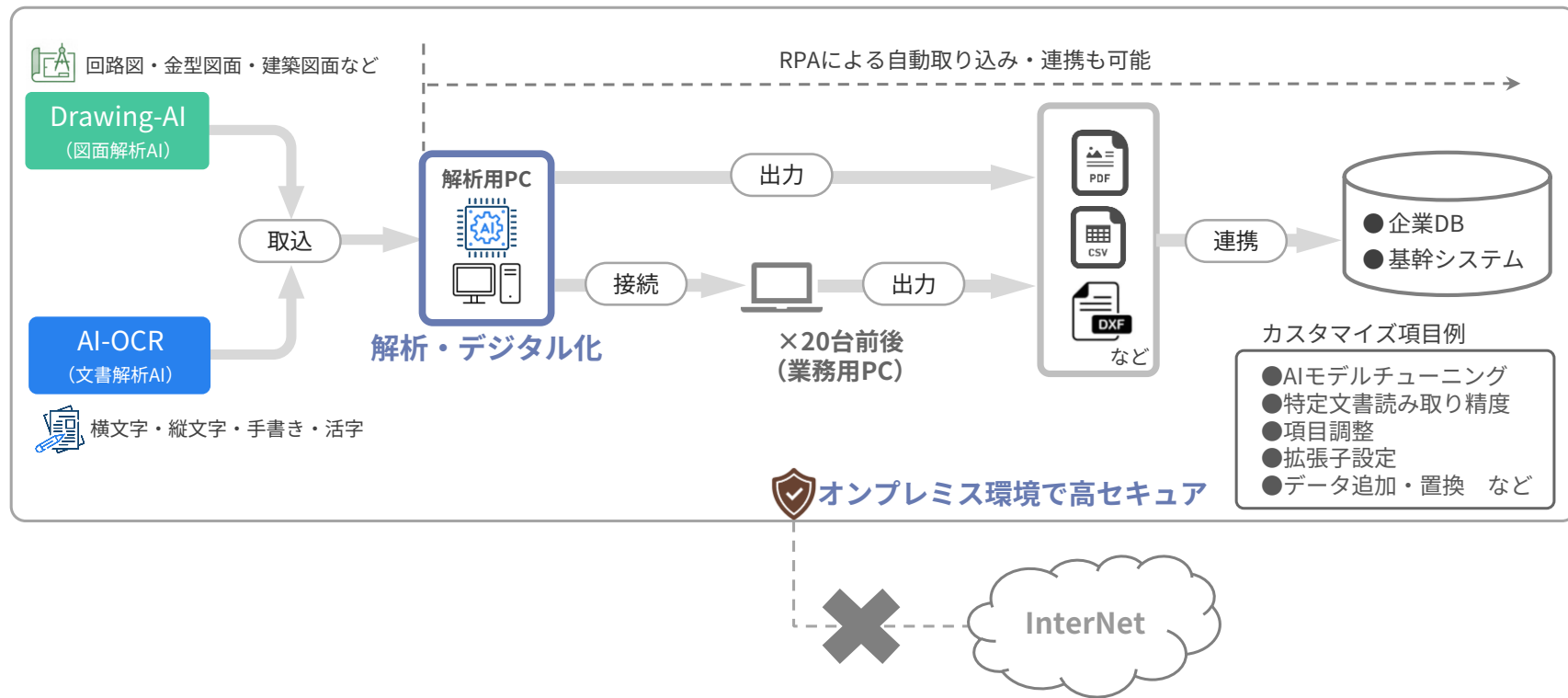
DXコンサルティング

※旧AIコンサルティング・AIインテグレーションと統合

車載領域で培った画像認識技術を応用し、AI導入やDX化にいたる上流から下流までトータルサポート。幅広い業務領域の効率化を支援。

図面 / 文書の中にある特定項目を高精度に抽出→出力。

ご利用・社内ネットワークのイメージ（一例）



お客さまごとの課題やオーダーに沿った個別最適型の検図アルゴリズムと管理機能を提供。

検図自動化による導入効果※PoC平均値

作業工数

30～60%減

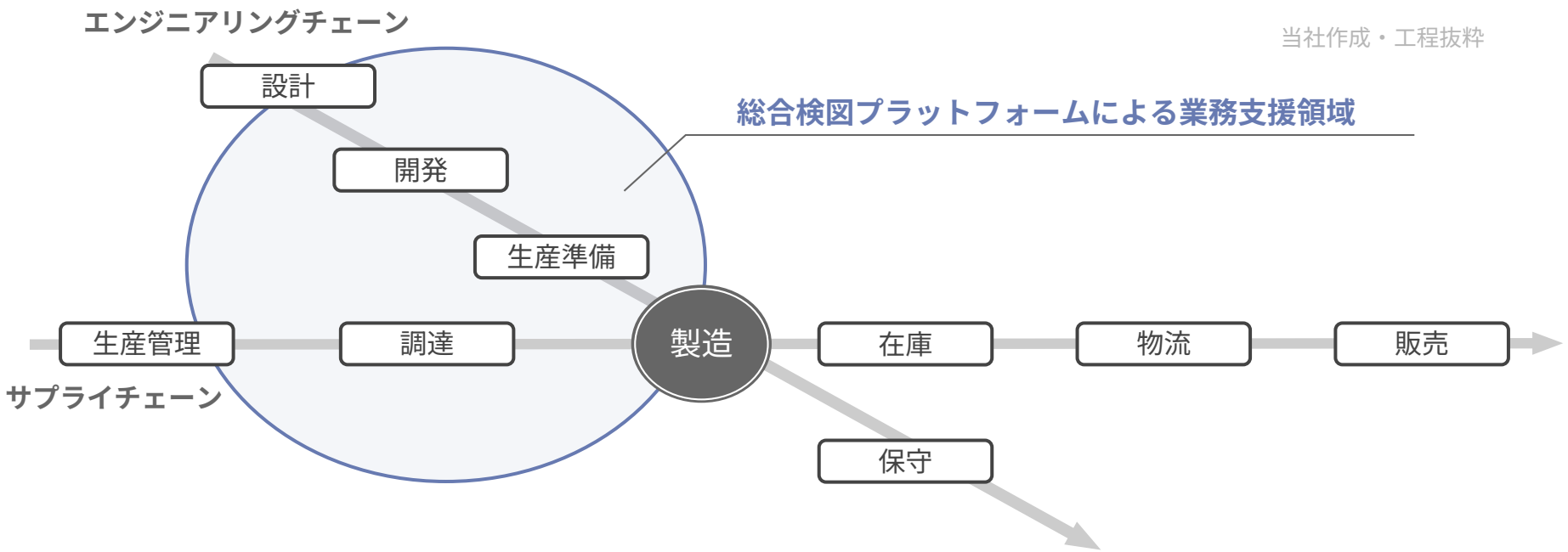
作業人月

4人月→2人月

支援目的	図面解析AI 検図最適化/設計品質向上/デジタル資産化/技術資産化
読みとり対象領域	電子回路図/建築図面/金型図面/機械図面/設備配線図/ 電気系統図/部品設計図/間取り図/店舗図面など
機能・仕様	● 図面の構造理解/リスクチェック ● 自然言語での図面検索 ● 図面の前後比較や異なる形式のファイル間の比較 ● PDFからCADに変換 ● オンプレミス対応/高セキュア
導入効果	検図工数削減/品質安定化/手戻りコスト削減



サプライチェーン・エンジニアリングチェーンを軸とし、
製造における人的・手戻りリスクのある工程に特化。



リリースから1年を経て、様々な機能をアップデート。
総合検図プラットフォームとして、現在の検図課題に寄り添った幅広い機能を提供。

回路図



[要約・解析]

構成要素の自動要約・説明。部品表の構造化出力。

[変換]

取り込んだPDF(ベクタ・ラスタ対応)をedfなどCAD編集可能な形式で出力。

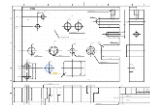
[リスクチェック・改善提案]

設計上のリスクや改善案をリスト化。

[調達数の算出]

読み取った図面に対し、必要な調達部品数及び金額を算出。

金型図面



[基本要素の解析・抽出]

線分・円・円弧などの図形要素と文字情報を自動解析。図面の構造と寸法情報を機械可読な形で把握、紐づけ。

[加工指示認識]

キリ・ザグリなどの加工指示を自動判別。指示の有無や矛盾をチェック対象に含め、修正すべき箇所を明確化。

[自動チェック・重ね合わせ比較]

寸法の抜け・誤り、面取り指示の不足、注記・引出線の欠落をリスト化。

建築図面



[スマート積算AI]

長さ・面積を自動計測。規則性のあるパーツ(窓・ドア・柱など)の自動拾い出し→調達数・見積金額算出。

[実寸計測AI]

ドラッグアンドドロップでの直感的な実寸計測が可能。周囲の寸法を読み取りAIで実寸を算出。

[設備抽出AI]

部屋名・寸法・配置を構造化データとして抽出。実寸の更新や構造化データのダウンロードが可能。

機能
アップデート予定

- 全般的な図面の読み取り、出力精度の更なる改善
- ベクタPDF・3DCAD図面の読み取り強化
- PDF(ラスタ/ベクタ)からCAD図面への変換(座標データなどの保持)

事業内容 | DX-AI Solutions : 主な受注内容①

車載領域で培った画像認識技術を、図面・文書以外の幅広い分野へ展開。
共通のコア技術を多様な業務に展開し、現場の効率化を支援。

2026年6月期の主な新規受注案件①

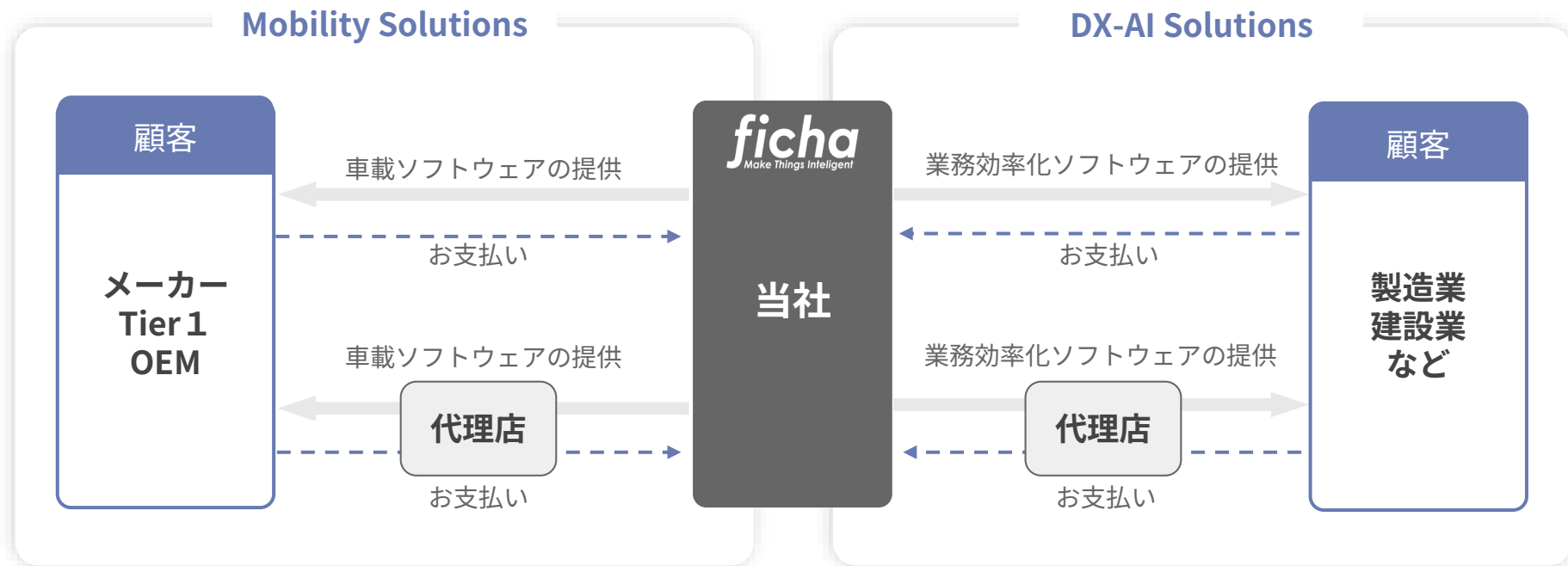
案件カテゴリ		案件概要	2026年6月期末時点 進捗状況
教育関連	AI-OCR	学生の手書き答案用紙を データ化し、採点作業を効率化	開発・提供済
生活インフラ	AI-OCR	構造化された掲示物画像の 文字・記号読取評価	開発・提供済
情報通信業	AI-OCR	PDF文書からの テキスト抽出	開発・提供済
製造業	Drawing-AI	電気回路図の 自動検図システム化PoC	開発済 本実装に向けて提案中

車載領域で培った画像認識技術を、図面・文書以外の幅広い分野へ展開。
共通のコア技術を多様な業務に展開し、現場の効率化を支援。

2026年6月期の主な新規受注案件②

案件カテゴリ		案件概要	2026年6月期末時点 進捗状況
住宅関連	Drawing-AI	平面図・立面図における 実寸の計測	開発・提供済
住宅関連	Drawing-AI	間取り図内における 指定項目の実寸読み取り	開発・提供済
機器メーカー	DXコンサル	既存筐体への 顔認証システムの実装PoC	開発・提供済
機器メーカー	DXコンサル	既存筐体への顔認証・視線解析・ ハンドジェスチャー実装PoC	開発中

双方の事業共に、自社開発で磨きこんだ独自のアルゴリズムが搭載されたソフトウェアを様々なお取引先様にご提供。



事業内容 | 各事業の収益構造

量産を前提とした受託開発収入と、量産台数に連動する継続的なライセンス収入の収益構造。
自動車関連等のMobility Solutionsとその他の分野のDX-AI Solutionsで事業を展開。
安定的な成長やR&D投資が可能な収益構造。

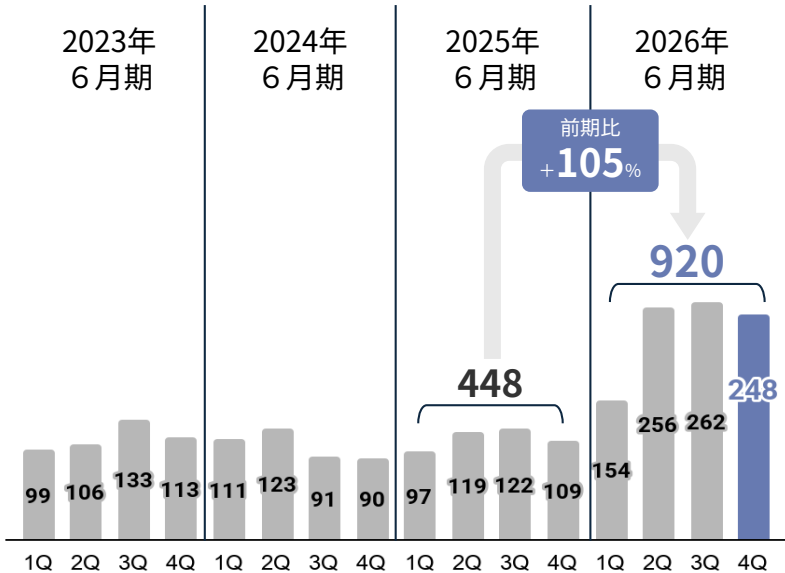


Point

- 売上高のうち、約40%がライセンス収入
 - └ ライセンス収入の粗利率100%
- 量産前提案件に注力し、長期的なライセンス収入を狙う
 - └ 量産案件の車載製品はライフサイクルが長い

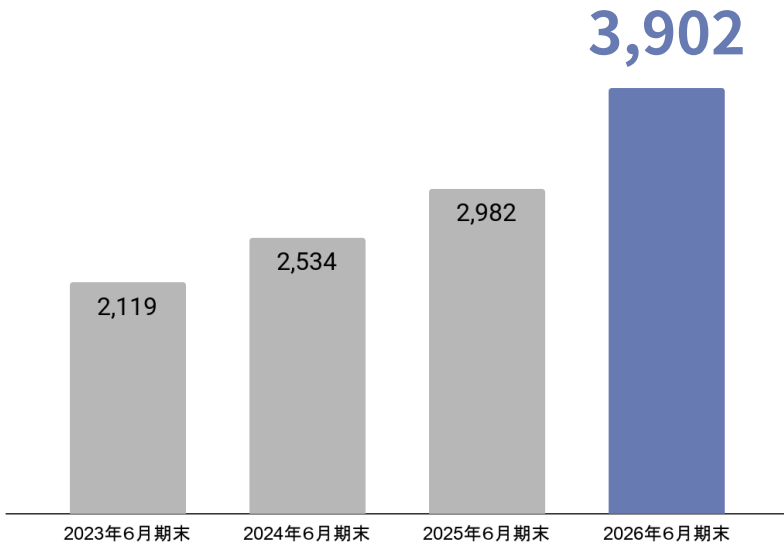
当社ライセンス製品が搭載された新車の量産が前期比+100%超で推移。
受託開発収入とは別に、量産台数に応じたライセンス収入として積み上がる収益モデル。

四半期別量産台数



(単位：千台)

累計量産台数



(単位：千台)

- 
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 当社の強み
4. 成長戦略
5. 中期経営計画
6. 経営上のリスクと対応策
7. Appendix

自動車業界での画像認識技術は生命を守るための安全性と、 常時稼働が求められる信頼性が絶対要件。

390万台以上の量産実績で培った画像認識技術を武器に、独自のポジショニングでソリューションを展開。
様々なお客さまの様々なビジネス課題の解決を支援できる事業基盤を構築。

多様なニーズの最適化

アルゴリズム開発から組込み最適化、アプリ開発、オンプレミス・クラウド環境の構築まで全工程をワンストップで対応。

お客さまのニーズを最適化し、拡張性と信頼性を両立したシステムを実現。

独自のコア技術とデータ資産

自社開発の画像認識、マルチモーダルLLMなどのコア技術に加え、多様な領域で専有データと学習済みモデルを保有。

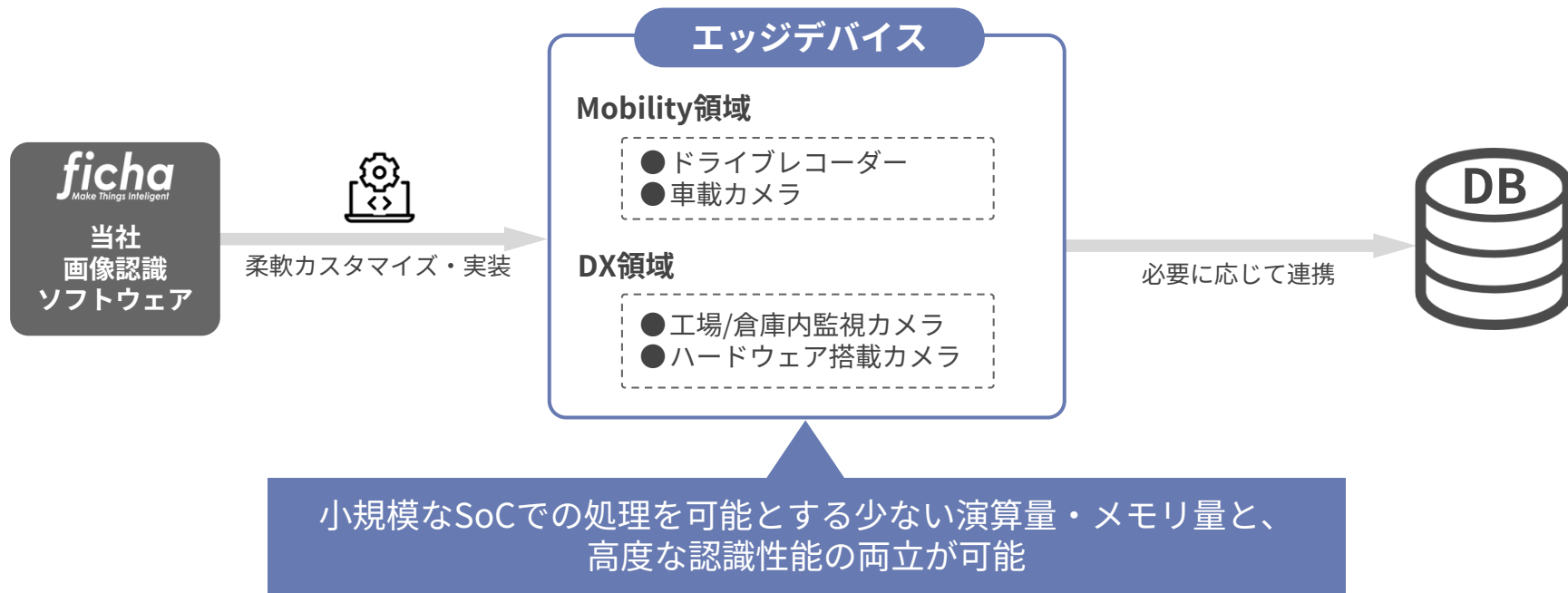
少ない学習データでも即フィットする専用モデルを高速で開発。

ビジネスに直結する課題解決力

「ROIの改善」「工数削減」などを起点に課題を定義。

要件定義から運用まで伴走し、確実な成果創出を牽引。経営指標の改善、人手不足の業務支援などをワンストップで対応。

- 独自のアルゴリズムにより、精度を落とさず軽量化を実現
- 高性能なモデルを低スペックなエッジAIデバイスに実装することが可能
- 当社で大規模なデータを保有し、少ない顧客データで高性能なモデルを開発可能
- オーダーメイドかつビジネス視点でのユーザーフレンドリーなUI/UXを提案・設計・実装



当社の強み | エッジAIのメリット・クラウド環境との比較

機密性の高いデータを扱う企業のセキュリティ要件に対応し、エッジ・オンプレミス環境で利用可能なソフトウェアを提供。

クラウド環境

導入の自由度



容易

遠隔かつリアルタイムの環境設定が可能

処理速度



一定の頻度で遅延

ネットワークを介し、クラウド上でデータ処理が行われるため、遅延が発生

ランニングコスト



高コスト

通信コスト、サーバ設備のランニングコストが高い

セキュリティリスク



高リスク

データをサーバに転送するため、機密情報の拡散リスクが存在

エッジ環境

個別対応が必要

エッジデバイスに対し直接ソフトウェアをインストールする必要がある

高速

AI処理がエッジでリアルタイムで行われる

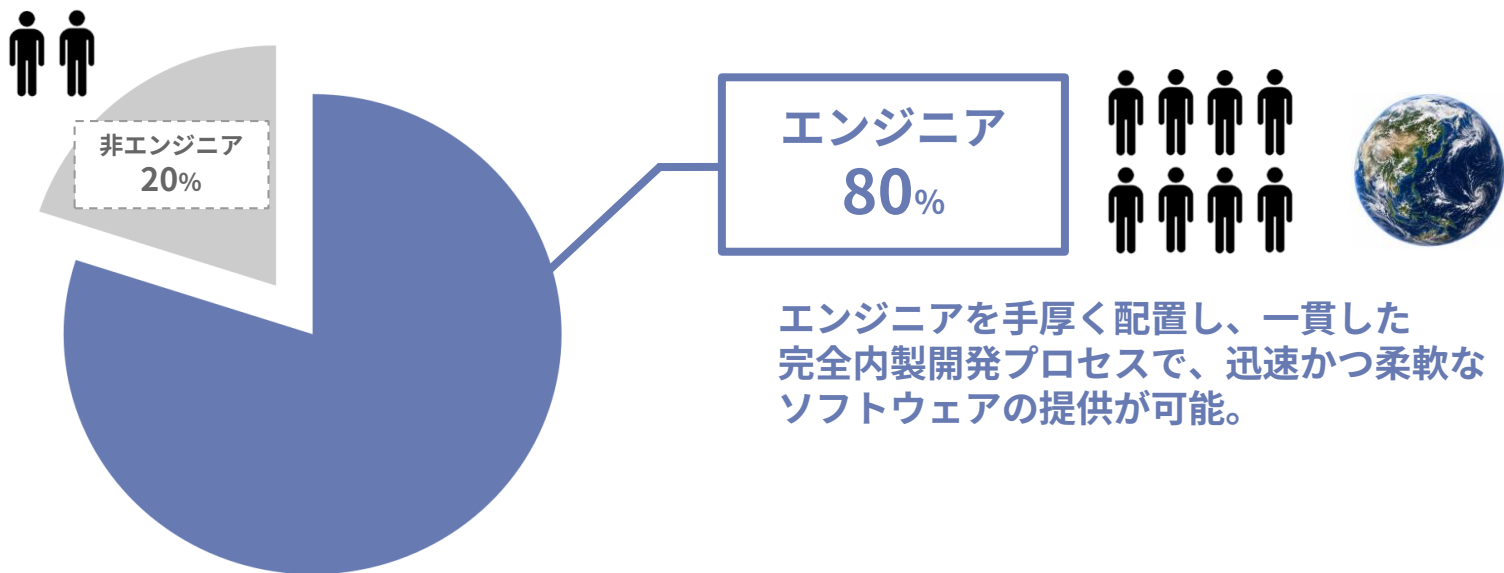
比較的低コスト

通信コストとAI処理コストが最低限

低リスク

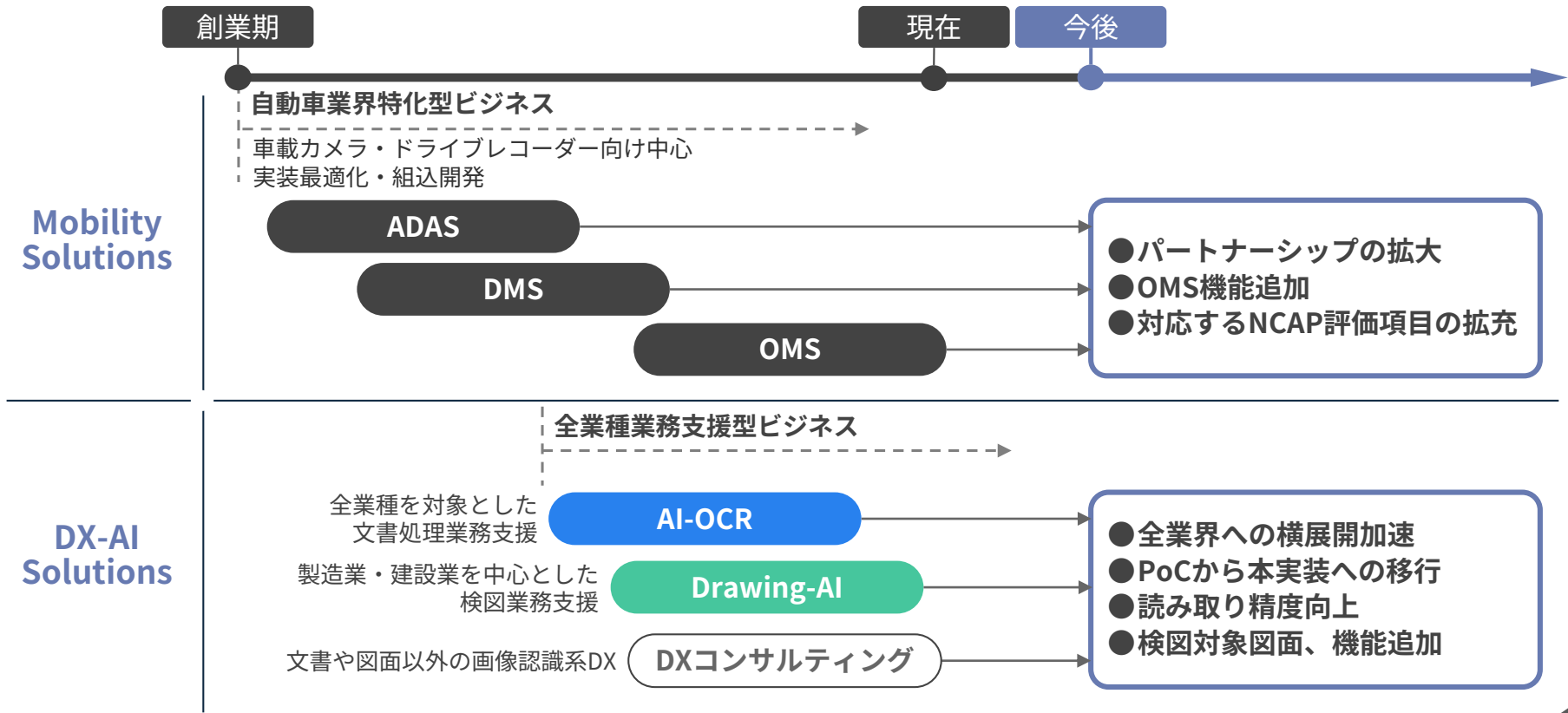
原則、社内ネットワーク内のみの通信であるため、リスクが限定的。

- 世界各国の優秀なエンジニアを採用。多様性を強みとした柔軟な発想かつ独自性のある技術力を醸成
- AIアルゴリズムエンジニア、組込エンジニアを含むすべての開発スタッフを自社採用



- 
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 当社の強み
4. 成長戦略
5. 中期経営計画
6. 経営上のリスクと対応策
7. Appendix

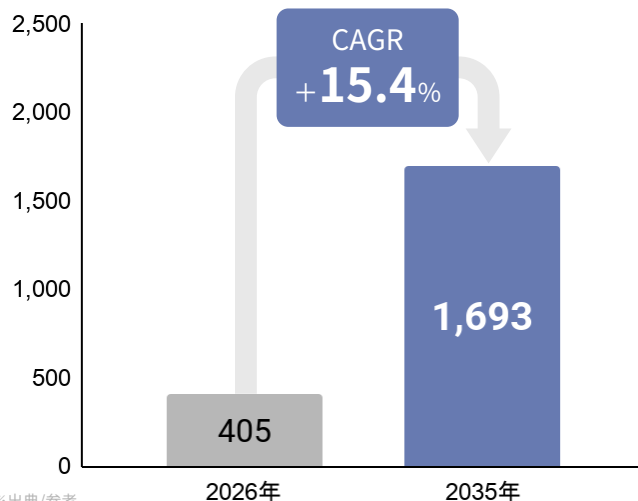
2026年6月期は主に製造業・建設業に画像認識×AI技術を展開。多くの引き合いをいただく。



ながら運転・居眠り運転による事故防止に向け、日本でもDMSの搭載義務化が進む見通し。
DMSを含む車載安全システムの搭載拡大が見込まれる。

走行システム・運転支援システム搭載市場 (グローバル・ソフトウェア合算)

単位：億ドル



※出典/参考

[Global Market Insights Inc.]

ADAS市場：乗用車向けADAS市場規模、成長予測2035年

[Verified Market Reports.]

DMS・OMS市場：世界の自動車運転者・乗員監視システム (DMS-OMS) 市場規模より当社作成及び推計
本推移は作成時点で発効・公表済みの規制と今後の諸国の経済情勢や一定の前提に基づく当社試算であり、
規制化の時期・適用範囲や各市場の新車販売動向により、実際の結果は大きく異なる可能性があります。

市場の変化予測

安全基準の厳格化と法規制の義務化

ながら運転・居眠り運転を検知し、ドライバーへ警告するDMSについて、日本でも搭載義務化の方針。
2033年には継続生産車へも対象が拡大する予定。

AI処理による需要の加速

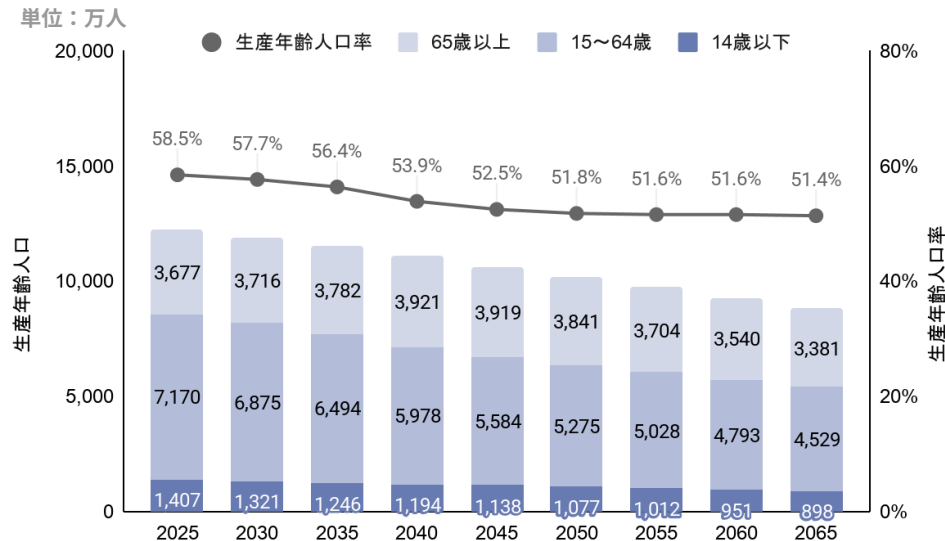
低遅延で、データを端末内で処理できる エッジAIへの需要が増加傾向。当社の軽量アルゴリズムが優位性を発揮。

量産機会の拡大

当社はDMSの量産実績を有し、規制・評価項目に対応した機能開発を継続。

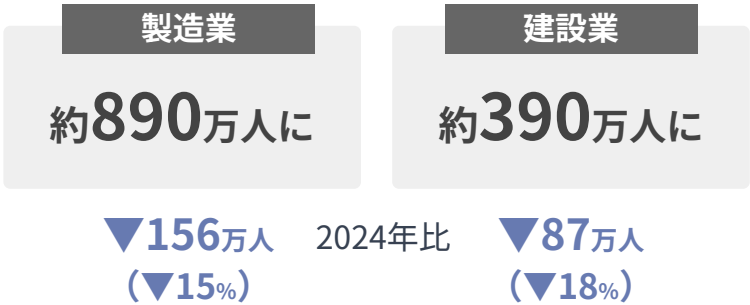
将来的な生産年齢人口の減少による深刻な人手不足が大きな社会課題。

日本の生産年齢人口
(推計値)



出典：厚生労働省「我が国の生産年齢人口の推移と将来推計」より当社作成
<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/roudou/21/backdata/02-01-01.html>

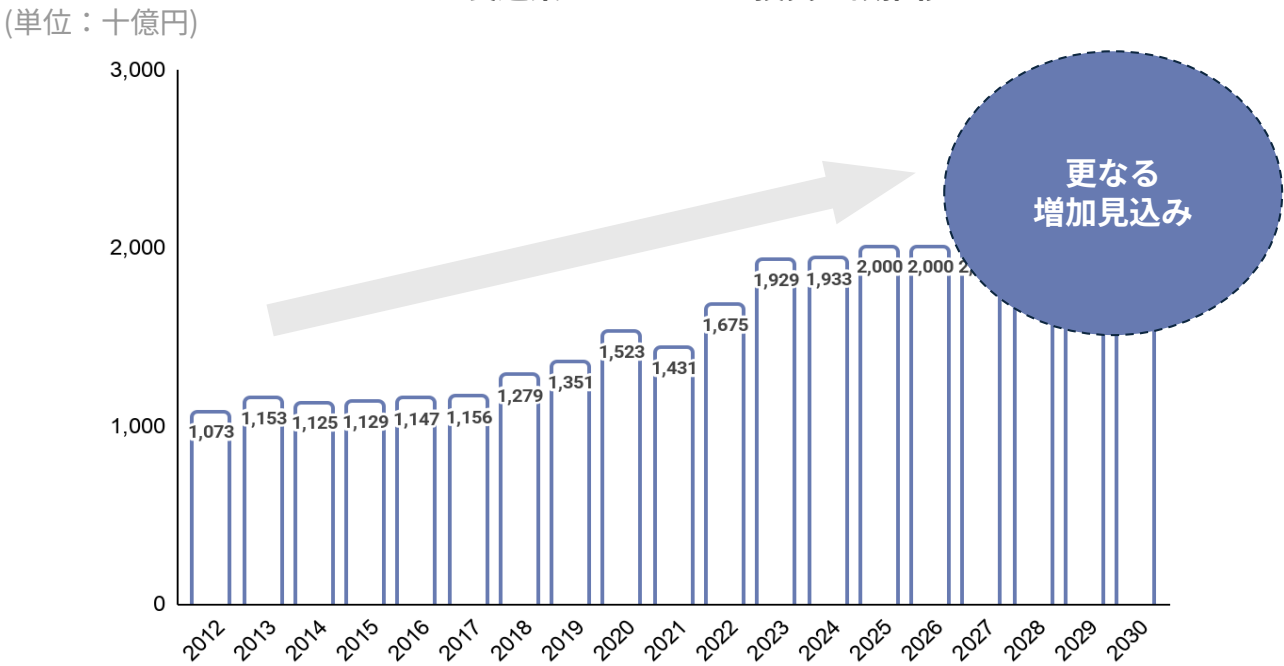
業種別2035年時点の推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口（令和5年）」2023 | 経産省・厚労省・文科省「2025年版ものづくり白書」2025.6 | 国土交通省「建設業の現状」2026.4 | 内閣官房「2040年産業構造・就業構造の推計」

人手不足の対策含め、年々ソフトウェア投資が増加しており、
当面の間はAIをはじめとしたソフトウェア関連のマーケット拡大が見込まれる。

製造業ソフトウェア投資金額推移



出典：「ものづくり白書2025」・財務省「法人企業統計調査」（2025年3月）から当社作成

社会・産業における未解決の課題を、当社独自のアルゴリズム技術によって解決可能な価値へと転換。

社会・産業の現状課題

課題① 規制強化

グローバルな規制強化や、持続可能な社会の実現を阻む構造的なボトルネックが発生。

課題② 人手不足

特定の業界において深刻化している人手不足や、従来の仕組みでは対応しきれない複雑なデータの処理が課題。

課題③ 業務効率

現状の技術的制約やコスト障壁により、多くの現場で放置されている非効率または品質のリスクがあり課題提起されている。



当社の貢献内容

Mobility Solutions

[課題①の解決]

車載カメラを通して、歩行者や前方の車、運転者の状態、車内の乗員までを判別。危険をいち早く捉え、衝突や居眠りによる事故を未然に防止。専用チップを使わず既存の車載機器で動くため、車両運転の安全性を支援。

DX-AI Solutions

[課題②③の解決]

図面の検図や書類のデータ入力をAIで自動化し、人手不足やノウハウの属人化や手戻りなどの課題に対応。業務を自動化することで、人の目で確認・転記する作業を大幅に削減し、労働人口・生産人口減少に社会課題に対し支援。

“あらゆるシーンで画像認識技術が人を支え、豊かな社会の実現を目指します”

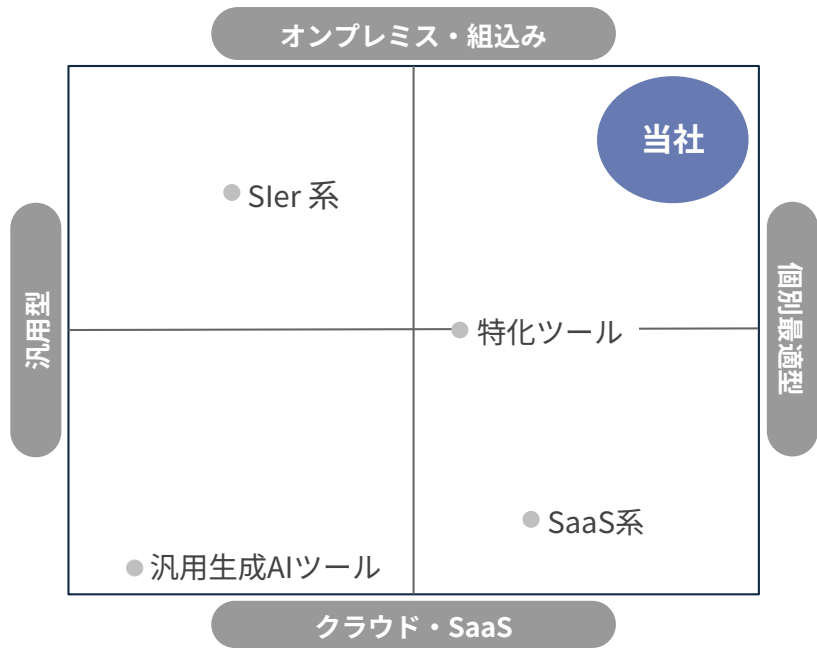
- 当社のターゲットとする市場は"**自動運転レベル 0～3**"
- 今後、市場規模の拡大が見込まれ、"**完全自動運転が浸透しても継続的な需要**"が見込まれる。
- "**軽量かつ高性能**"な強みを活かし、他社との差別化を図る。

システム種別	レベル	概要	市場動向
完全自動走行システム	5	完全自動運転	世界的IT企業や自動車企業が巨額の投資を行って研究開発中。インフラの整備や法規制整備に課題があり、本格的な投入時期としては2030年代以降となる見込み。
	4	特定条件下における完全自動運転 (例) 高速道路での完全自動運転	
準自動走行システム	3	条件付自動運転 (例) 自動運転だが人の介入が必要	運転手の介入が必要なためドライバー監視システムの需要が急拡大。
	2	特定条件下での自動運転機能 (例) 車間距離制御、自動駐車	当面はレベル2に対応した車両が自動運転車全体の市場を牽引。
安全運転支援システム	1	運転支援 (例) 自動ブレーキ、車線維持支援	ADAS機能搭載の義務化が各国で進み、堅実な市場拡大が見込まれる。
	0	運転支援 (自動化なし) (例) 危険を知らせるアラート機能	安全運転意識の高まりから、ドラレコの高機能化や後付けADAS機能のニーズが高い。画像データの応用ニーズも拡大。

メインターゲット

利用満足度を維持する為、企業独自の検図ルールもアルゴリズムに組込んだ"個別最適型の導入"を推進。
機密性の高い図面・文書を外部に出さず利用できる、高セキュアな"オンプレミス型でのソフトウェア導入"。

当社ソリューションの立ち位置



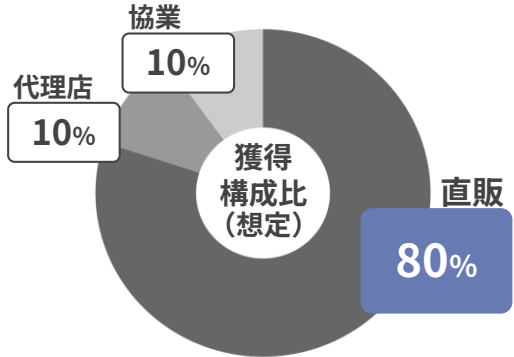
差別化要素

- 1 業界横断の総合プラットフォーム
様々な業界業種の業務効率化を支援。
あらゆる系統の図面や文書を読み取り。
- 2 個別最適型柔軟カスタマイズ
特定業務フローに最適化された独自モデルの構築。
画像を認識した後のUI/UXにおいてもお客様の
ビジネス背景や固有ルールをふまえた設計で提供。
- 3 高度なデータ連携性
既存基幹システムとの連携。
他媒体への二重入力を削減し、全社的な生産性を向上。

- DX領域での顧客獲得はMobility領域とは異なり、多数の企業様と接点を持つ必要がある為、2026年6月期より積極的なチャネル展開を実施。商談機会も着実に増加。
- 今後はメディア戦略にも注力し、認知度向上と新たな顧客接点の拡大を推進。

チャネル別リード獲得イメージ

獲得チャネル	役割
直販	エンタープライズ案件の獲得・深耕
代理店	キーパーソンの紹介・リーチの拡大
協業・パートナー	DX課題を解決すべく異なる得意領域の提携



リード獲得施策

デジタル集客

サイトコンテンツ充実化による、流入の促進

展示会出席

より業界課題に近い展示会への出席

アライアンス推進

代理店・協業先へのアプローチ

メディア展開

掲載メディアの拡大

2027年6月期重点施策

高度なアルゴリズムのソフトウェアをコンサルティングモデルかつ柔軟な追加学習による伴走体制で密着支援。受託開発時のノウハウを蓄積し、利益率の高いライセンス収入で企業体力を強化しつつ、R&D投資を行い、競争力をつけビジネスを循環させる。

業界特化データ資産

- 様々な画像データの蓄積による高精度AIモデルの確立
- 独自のデータラベリングによる学習モデルの開発
- ローカルLLMの実装において限られたPCスペックでも実用的に動作するよう最適化

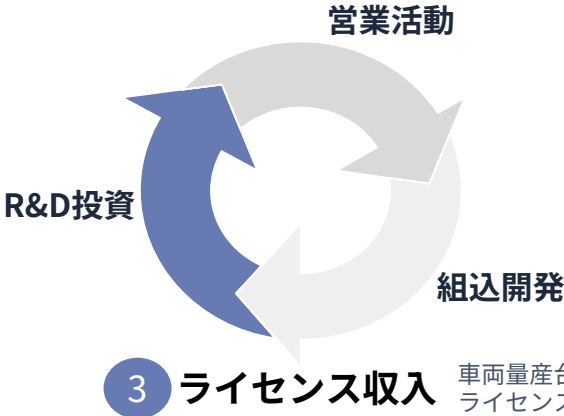
伴走型支援体制

- 課題解決や継続的な投資対効果最大化に向けた支援の実施
- 現場定着の徹底によるソフトウェアご利用アクティブユーザー率向上の徹底

競争力の土台

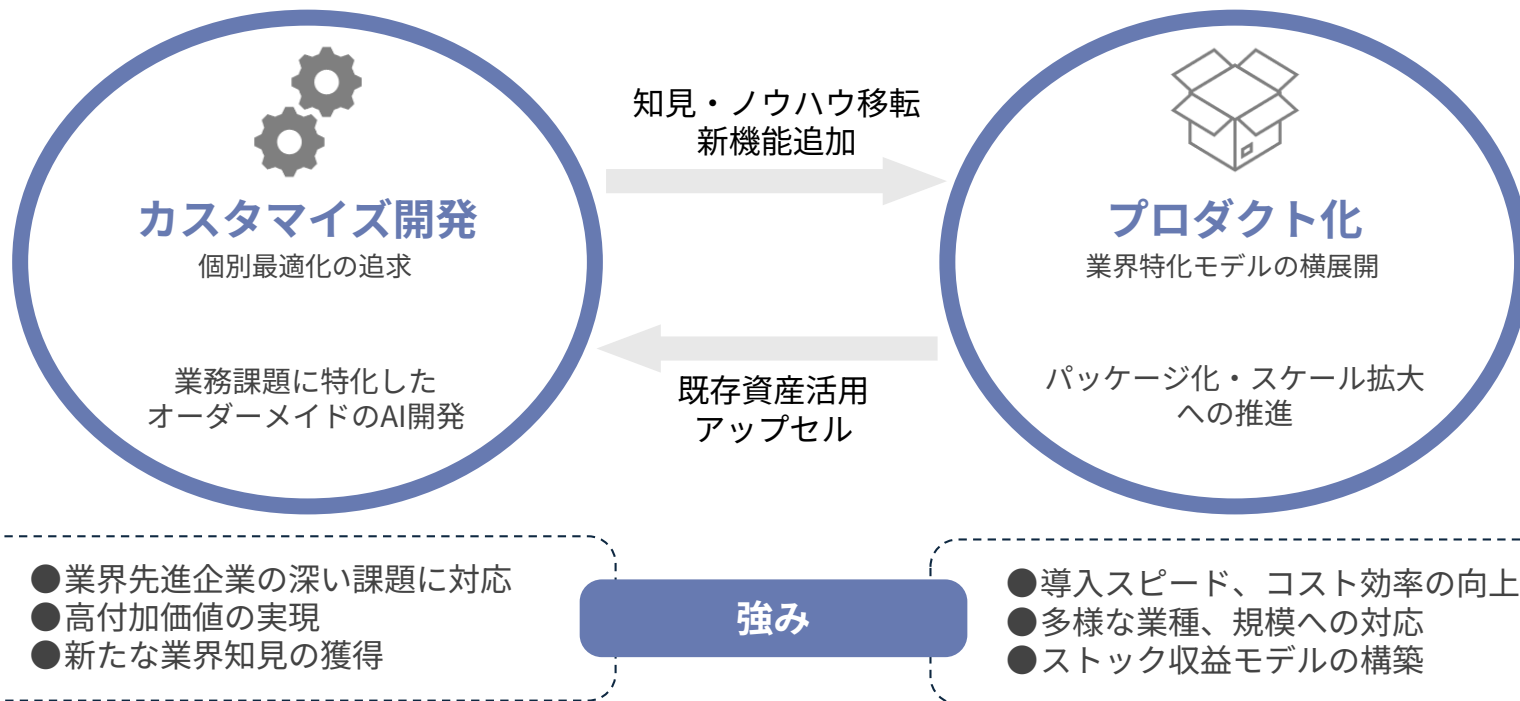
1 独自アルゴリズムの進化
画像認識ソフトウェアに
特化した研究開発活動

量産実績とともに
技術やノウハウが蓄積



2 受託開発収入
顧客のニーズに沿った
カスタマイズ／実装

2つのビジネスモデルを両輪とした循環モデルを導入することで、品質と拡張性を両立。カスタマイズ開発からプロダクト化へと知見移転を加速させ、業界特化型ソリューションのラインナップを拡充。模倣困難なソリューション化を推進。



- 
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 当社の強み
4. 成長戦略
5. 中期経営計画
6. 経営上のリスクと対応策
7. Appendix

売上高

543百万円

(前期比 + 9.3%)

営業利益

41百万円

(前期△11百万円)

主要ハイライト

● 過去最高の売上高と黒字転換

└ 売上高は過去最高を更新、営業利益も黒字を確保し、成長投資を継続しながら収益面が改善

● ライセンス収入の伸長

└ 当社ライセンス製品搭載車両の量産台数の増加により、ライセンス収入が前期比68.6%増加

● 大手自動車部品メーカー（Tier1）からの追加受注

└ 受注案件は複数年継続する見通しで、今後の中期的な安定売上に寄与

● 中国北京子会社を清算

└ 経営効率の改善の観点から、子会社を清算し、2026年6月期第4四半期より単体決算へ移行

売上高は過去最高を更新、黒字転換。
受託開発収入は共同開発案件の中断により減少したが、ライセンス収入の大幅増加により、収益性が改善。

		2025年 6 月期	2026年 6 月期			
(単位：百万円)		前期実績	当期実績	前期比	当初予想(※)	予想比
売上高		497	543	+9.3%	540	+0.6%
	うち、受託開発収入	339	277	△18.2%	395	△29.8%
	うち、ライセンス収入	157	265	+68.6%	145	+83.2%
売上原価・販管費		508	502	△1.2%	523	△4.0%
	うち、人件費	292	297	+1.7%	323	△7.8%
	うち、経費	210	204	△2.9%	200	+1.8%
	うち、仕掛品振替	5	0	△83.1%	—	—
営業利益		△11	41	—	17	+136.0%
経常利益		△3	44	—	17	+152.5%
当期純利益		△31	42	—	14	+196.8%

(※) 2026年 6 月期第 4 四半期より、単体決算へ移行しており、前期実績および当期実績は単体数値を記載しております。
旧連結子会社の業績影響は軽微であるため、当初予想は、2025年 6 月14日公表の連結数値を参考として記載しております。

自己資本比率90%以上を保持した経営が続いており、
財務健全性を維持しながら成長投資を実施。

(単位：百万円)	2025年6月期末	2026年6月期末	
	前期実績	当期実績	前期末との差異
流動資産	687	725	+38
現金及び預金	592	528	△64
売掛金	79	180	+101
その他	14	16	+1
固定資産	40	61	+20
資産合計	727	786	+59
負債合計	42	59	+16
純資産合計	685	727	+42
負債・純資産合計	727	786	+59

2026年 6 月期は、DX-AI Solutionsをはじめとした成長に向けた事業基盤の構築が進展。
2027年 6 月期は、Mobility Solutionsで安定収益を確保しながら、
DX-AI Solutionsの成長を加速し、売上・利益のさらなる拡大を目指す。

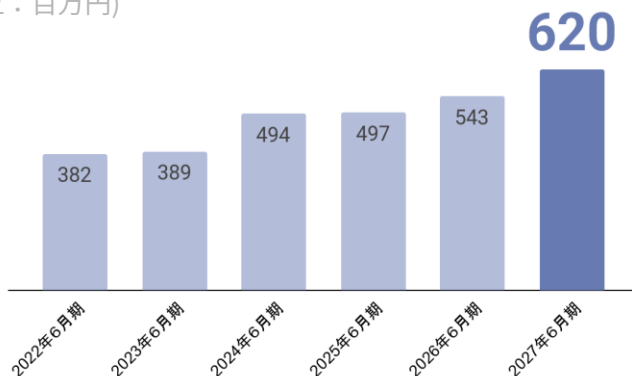
売上高
620 百万円
前期比：+14.0%

営業利益
50 百万円
前期比：+22.4%

営業利益率
8.1 %
前期比：+0.5pt

売上高推移

(単位：百万円)

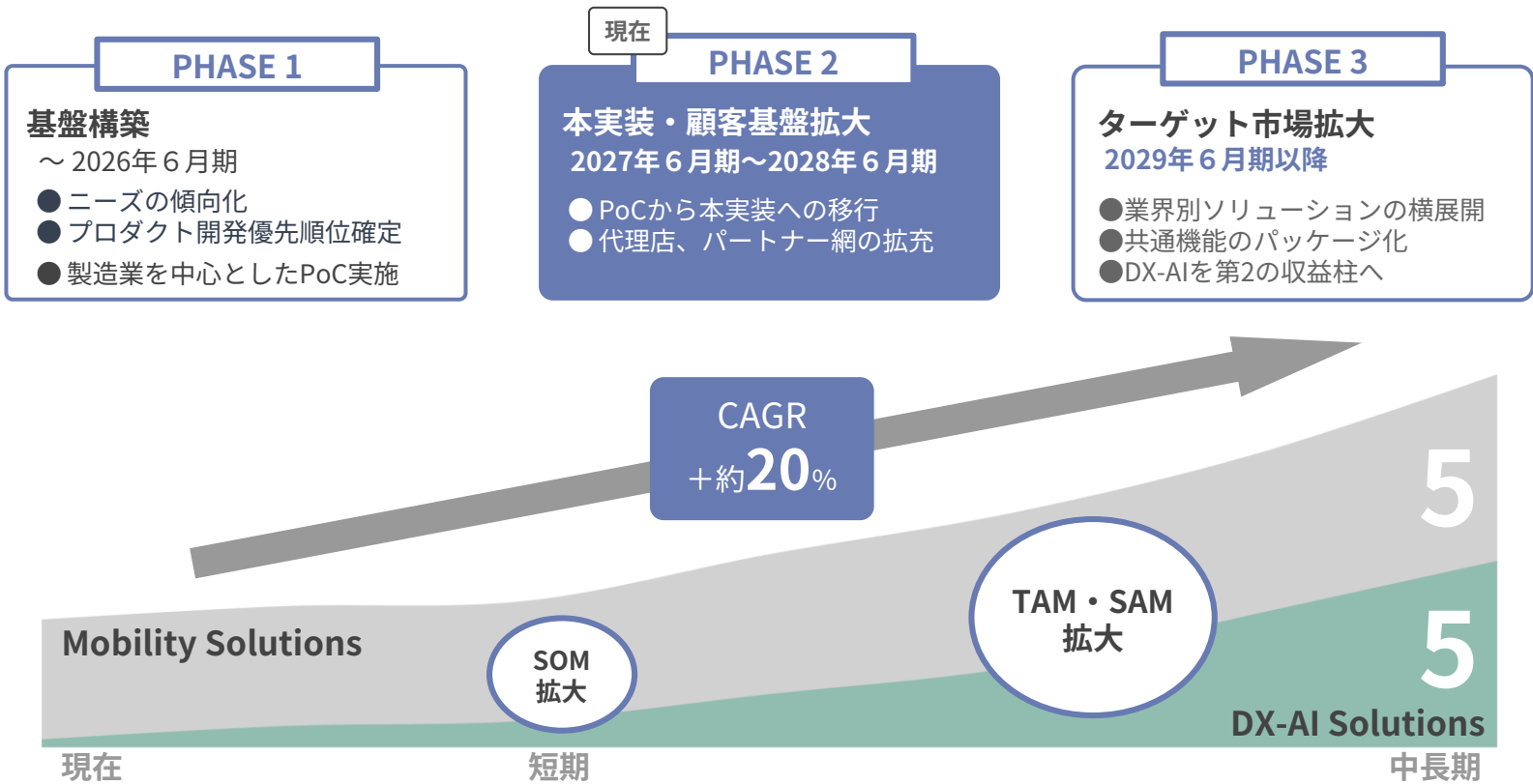


- Mobility Solutionsにおいては、共同開発案件の拡大
+ ライセンス収入の積み上げで着実に増収
- DX-AI Solutionsにおいては、認識・解析精度の強化、
集客チャネル拡大で導入を促進し、第2の収益柱化
に向け成長を加速
- きめ細かいコスト管理を徹底し、黒字体質を維持

受託開発収入は、Tier1との共同開発案件の拡大、DX-AI Solutionsの需要増により大幅増加見込み。
ライセンス収入は、顧客とのボリュームディスカウント契約が見込まれることから減収予想だが、
全体の売上高合計としては過去最高をさらに更新。

		2026年 6 月期	2027年 6 月期	
(単位：百万円)		実績	予想	当期比
売上高		543	620	+14.0%
	うち、受託開発収入	277	447	+61.1%
	うち、ライセンス収入	265	172	△35.2%
売上原価、販管費		502	569	+13.3%
	うち、人件費	297	359	+20.8%
	うち、経費	204	210	+2.9%
	うち、仕掛品振替	0	—	—
営業利益		41	50	+22.4%
経常利益		44	50	+13.2%
当期純利益		42	44	+3.8%

従来のMobility Solutionsの収益基盤を維持・拡大しながら、
中長期的にDX-AI Solutionsの成長を加速させ、売上高構成比 5 : 5 の二本柱を構築。



- 
1. 会社概要
 2. 事業内容
 3. 当社の強み
 4. 成長戦略
 5. 中期経営計画
 6. 経営上のリスクと対応策
 7. Appendix

経営において認識される主なリスク

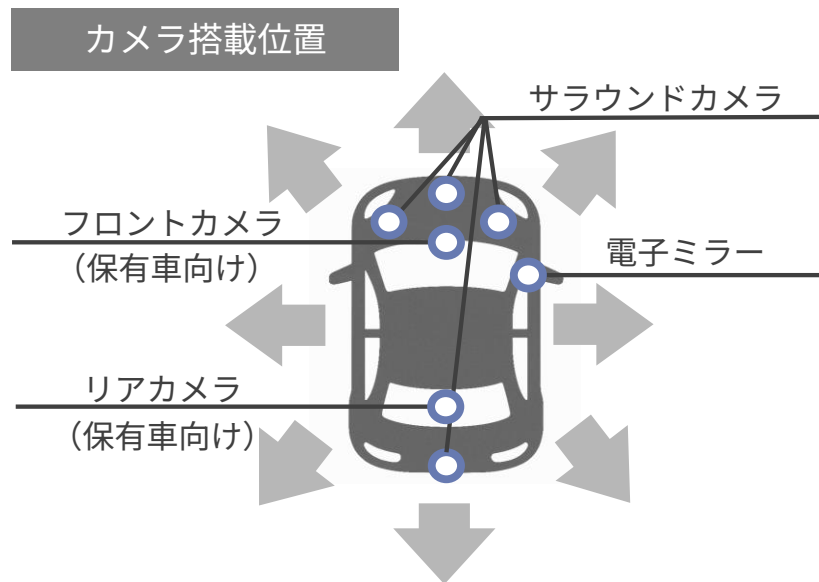
以下には、当社が経営においてリスク要因となりうる主な事項について記載しております。（有価証券報告書「事業等のリスク」に記載の内容のうち、成長の実現や事業計画の遂行に影響する主要なリスクを抜粋して記載しております。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照下さい。）

認識するリスク	リスクの内容	顕在化する可能性/時期	影響の程度	対応策
市場動向について	当社は、車載カメラ及びドライブレコーダー用画像認識ソフトウェアの開発を主力事業としております。今後、新たな法的規制や業界団体による規制の導入、その他予期せぬ要因等により、顧客企業におけるソフトウェア開発の外部委託の縮小や内製化若しくはニーズの変化、新車販売動向の低迷等、市場規模が縮小する動きがみられた場合には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	中程度 /中長期	中	常に市場動向を把握し、市場動向に応じた柔軟な対応を行うとともに、他市場への展開を積極的に進めることでリスクの低減を図ってまいります。
技術動向について	当社の技術力が想定どおりに成長しない場合や、予想以上の急速な技術の発展・代替技術・競合商品の出現、依存する技術標準・基盤の変化等により、当社の製品が十分な競争力や付加価値を確保できない場合等には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	低程度 /中長期	大	優秀な人材の採用や研究開発に積極的に取り組んでおります。また、常に市場動向を把握し、技術革新への対応を講じることにより、今後も競争力のあるサービスを提供できるようリスクの低減を図ってまいります。
ライセンス収入の変動について	当社のライセンス収入は、当社ソフトウェアが搭載された製品の製造、販売または使用に伴い認識されますが、製品の製造、販売または使用は、顧客の販売計画や営業活動に依存するため、顧客の販売計画が変更等された場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。	高程度 /中期	中	当社ライセンス製品の採用件数を増やしていくことで、特定のライセンス製品の販売状況の変動によるリスクの低減を図ってまいります。
特定顧客への依存度について	当社の売上高は、特定の主要顧客に依存しており、2026年6月期においては、売上高上位3社に対する売上高が売上高全体の78.8%を占めております。これら主要顧客との取引関係や自動車業界の動向に変化が生じた場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。	中程度 /中期	中	主要顧客との良好な関係の維持に努めるとともに、他市場を含めた新規顧客の獲得を積極的に進めることでリスクの低減を図ってまいります。

- 
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 当社の強み
4. 成長戦略
5. 中期経営計画
6. 経営上のリスクと対応策
7. Appendix

Advanced Driver Assistance System

各種物体検知に加え、前方車・歩行者衝突、交通違反などの**危険運転をリアルタイムで判定し**、事故防止を支援。物体検知～危険運転判定までを**パッケージ化**したソフトウェアの提供。
物体検知のみのソフトウェア提供にも対応。**新車及び保有車に提供可能**。



車両

前方車間距離 / 衝突警報

車線

車線逸脱検知 / ふらつき検知

歩行者 / 横断歩道

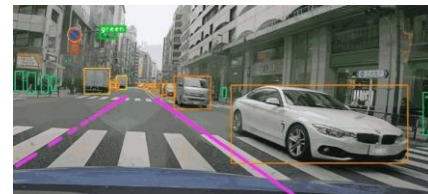
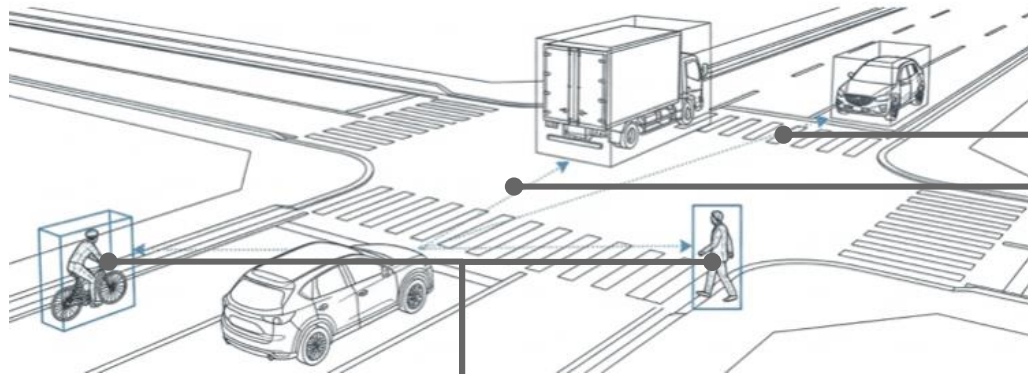
一旦停止無視

信号

信号無視検知

標識

速度超過 / 一時停止 / 信号矢印



検知イメージ

歩行者衝突警報(PCW)

- 横断中の歩行者、自転車、キックボードなどの車両を相対距離測定により高精度で検知。
- 的確な接近警告とブレーキ制御を実現。

前方車衝突警報(FCW) 衝突被害軽減ブレーキ(AEB)

- 先行車と対向車を正確に区別。
- 普通車、大型車、バイクまで多様な車両クラスを認識し、相対距離で測定



標識検出(TSD)

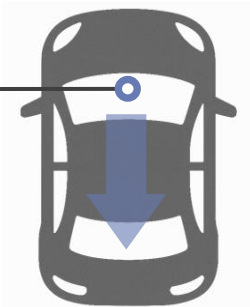
- 光学文字認識(OCR)技術により、標識・信号を瞬時に解読
- 速度超過、一時停止違反、赤信号無視などの交通違反を検知し警告。

車線逸脱警報(LDW)

- 車線と車両間の位置関係を瞬時に検出。
- 単なる直線だけでなく、複雑な車線変更区域、カーブ、車線変更補助線、路肩の検知にも対応。ふらつき警報と連携。

車内カメラによって**ドライバーの運転状態を監視**し、危険運転・事故防止などを目的としたシステム。
顔認証と組み合わせることで、盗難防止、事業者様の運行管理に活用可能。

車内カメラ



喜怒哀楽の検知 / 居眠り

よそ見運転の防止

いねむりなど危険運転に姿勢検知

電話 / 飲食 / 喫煙など

ドライバー疲労モニタリング

眼球アスペクト比(EAR)計算を眼閉状態検出に統合。
従来のディープラーニング分類を進化させ、
EuroNCAPの評価項目を踏まえた機能開発

マイクロスリープから無反応状態までを瞬時に検知



1～3秒連続閉眼

Microsleep Alert
(マイクロスリープ警報)

3～6秒連続閉眼

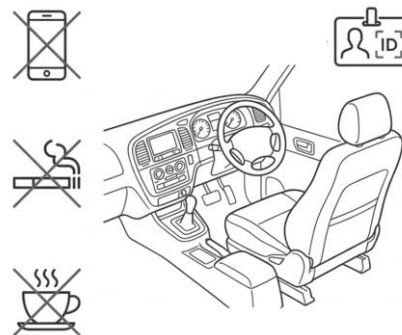
Sleep Alert
(いねむり警報)

6秒超の連続閉眼

Unresponsive Alert
(応答なし警報)

危険運転検出

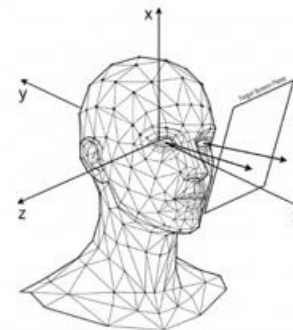
- ・ ドライバー名を瞬時に特定
- ・ シートやハンドルポジションの自動調整、車両の盗難防止
- ・ 運転中に避けるべき行動(携帯電話の使用、飲食、タバコ)を高精度に検出。
- ・ 運送事業者などにおける安全運転の指導、監督データとしての活用可能



注意散漫モニタリング

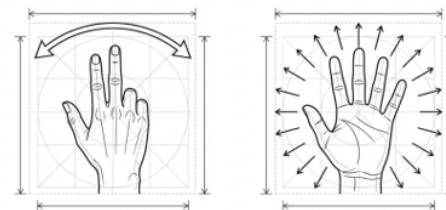
- 視線推定に対応
- 固定ターゲット画面/平面上での視線予測が可能
- ユーザー固有の視線キャリブレーション
- 基準となる頭部姿勢の逸脱(ベースラインからの偏差)に基づくよそ見警告に対応

※エンドツーエンドの視線ベースのよそ見警告は非対応



ハンドジェスチャー認識

- 静的/動的ハンドジェスチャー認識。タッチレスでのオーディオ操作や電話応答など、車載器の直感的な操作をサポートし、利便性を向上。

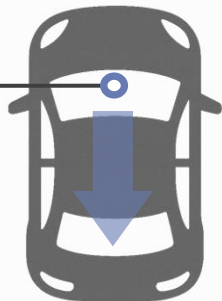


Occupant Monitoring System

車内カメラによって**乗員の状態を監視**し、子ども置き去りや危険姿勢防止などを目的としたシステム。
顔認証と組み合わせることで、盗難防止、事業者様の運行管理に活用可能。

カメラ搭載位置

車内カメラ



検知イメージ



子どもの存在検知

年齢推定などから割り出し

乗員アウト・オブ・ポジション

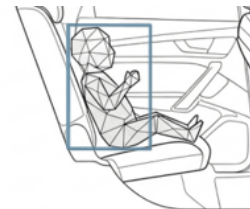
乗員の異常な姿勢の検知

乗員体格分類

乗員の骨格や体重などから分類

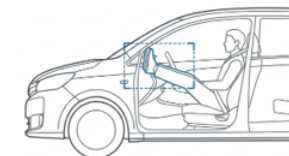
子どもの存在検出

- 0～80歳までの幅広い年齢を推定。車内の子どもを正確に特定。
- 性別・マスク着用状況・眼鏡着用状況も検知



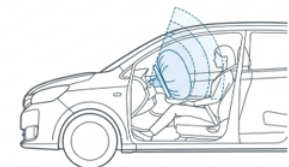
乗員アウト・オブ・ポジション(DAP)

- ダッシュボードへの足乗せ、極端な前のめり姿勢を検知
- 異常姿勢検知時のエアバッグ最適制御



乗員体格分類(OCS)

- 体格、着座姿勢の正確な検知・分類
- エアバッグ展開圧とシートベルト拘束力の最適化



検索

取り込んだ図面の検索が自然言語で可能。
速やかに検索結果が表示され、簡単に図面の確認が可能

The screenshot displays the 'AI回路エクスプローラー' (AI Circuit Explorer) interface. On the left is a dark sidebar with navigation options: 'ダッシュボード', '図面のアップロード', '図面一覧', 'AIエクスプローラー' (highlighted), 'レポート', and '設定'. The main area has a header 'AI回路エクスプローラー' with a subtext '自然な言葉で回路を発見 - 必要な回路を説明すると、AIが見つけます'. Below this is a search bar containing the text '電源回路 with 電圧レギュレータ'. To the right of the search bar is a large '検索' (Search) button. Below the search bar are three tabs: 'クイックヒント', '自然な説明を使う' (selected), '実装を自由に選べる', and '機能を具体的に'. A blue button '回路を検索' is on the right. The search results are listed below, with the first result 'ac_dc_converter.png' highlighted. It shows a 99% match, a 'summary' button, and a date '2025/10/7'. The 'Section: Overall Summary' follows, with a detailed description in Japanese. Below this is another result 'dcf61.png' with a 99% match, a 'summary' button, and a date '2025/10/7'. The 'Section: Full Structure' follows, with a detailed description in Japanese. On the right side of the interface, there is a list of search history items, each with a green circle icon, a title, and a date. A large grey box with the text '検索履歴から再検索も可能' (Can re-search from search history) is overlaid on the right side of the interface.

検索

表示

検索履歴から再検索も可能

変換

取り込んだファイルがCAD系ファイルに変換。
スムーズな図面再設計が可能（回路図で対応）



ベクタ・ラスタ形式



AIによって座標データなどの
内部データを持ったCADファイルに変換



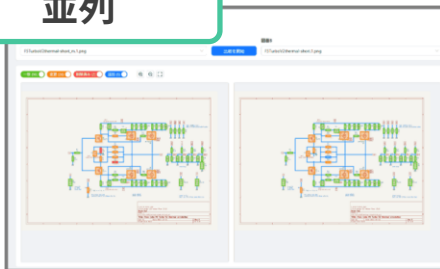
CADでの再設計
Drawing-AIで高精度の検図

比較

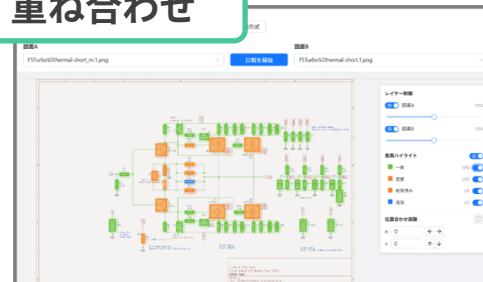
Before→Afterの比較が直感的かつ様々な見え方でスムーズに。
一致・変更・削除・追加箇所など、色による差異表示で即座に認識が可能。

※Kicadファイル取込にて表示

並列

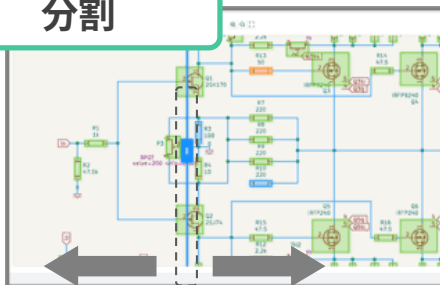


重ね合わせ



双方の画像の透過度調整やずらすことも可能

分割

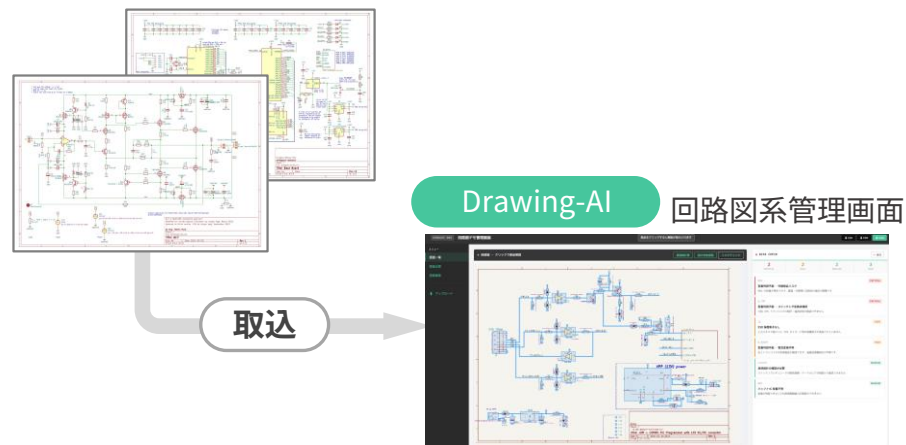


画像比較スライダーでBefore/After領域の指定が可能

点滅



AIによる自動検図と情報抽出により、検図習熟度に関係なく解釈可能。
知識の偏り、属人化解消を支援。



検図イメージ

回路全体の要約



回路構造の解説



BOMの構成抽出

部品名	数量	単位	価格
1. 抵抗器	1000	個	1000
2. 抵抗器	1000	個	1000
3. 抵抗器	1000	個	1000
4. 抵抗器	1000	個	1000
5. 抵抗器	1000	個	1000

リスクチェック



調達数の算出

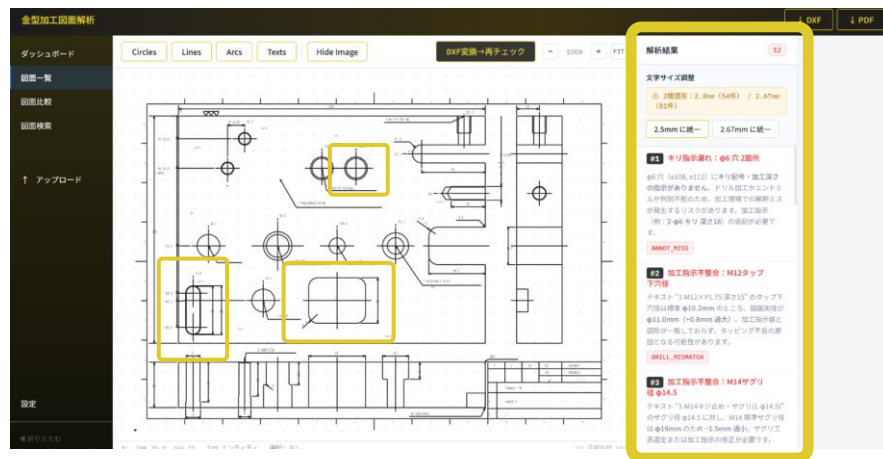
部品名	数量	単位	価格
入力コネクタ	5	個	4000
170173 調整システムチップ	5	個	45,000
170173 調整システムチップ	5	個	45,000
調整システムチップ	5	個	45,000
調整システムチップ	5	個	45,000

設計改善提案



様々な拡張子で出力可能
(csv・pdf・CAD・json形式など)

実際に設計した寸法と注釈テキストとの差異や注釈テキストの有無もAIで検知。
CADでの設計工数効率化や手戻りを未然に防止。



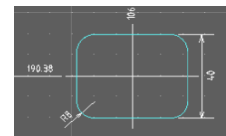
検図イメージ

寸法記入の漏れ・誤記、面取りや加工指示の不足、注記の抜けを自動で抽出

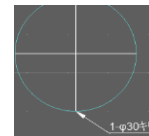
リスト化、と点滅、でエラー検知



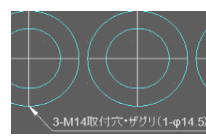
長さ/高さ/面取り



キリ



ザグリ



建物寸法の実寸や間取り図の寸法や数量・金額が、
AIによって抽出され、チェックや修正作業が大幅に効率化



プロットした点同士が自動的に結ばれ、線分の測定結果が表示される。



部屋の中の各設備の寸法やタイプ(スイングドアや対面キッチンなど)が自動で抽出されリスト化される。



部屋の中の各設備の拾い出しを行い、調達数量や見積もり金額を算出。

OCR技術を活用した高精度な文書デジタル化と情報抽出により、
業務プロセスを大幅に効率化。

高水準の認識精度

活字 **99.5%** 手書き **96.0%**

- 当社独自の技術で、高精度の文字認識と処理の軽さを1つの認識エンジンで実現
- 認識文字の信頼度の出力や自然言語処理による文字修正機能もご提供可能
- 多様なフォーマットの帳票画像から傾き補正と文字領域の検知を高精度に実施

当社独自のAI-OCR技術で高精度の文字認識と処理の軽さを実現
ビジネス領域に特化した軽量でマルチモーダルなLLMを開発し、特定項目を高精度に抽出

Point 1

活字／手書き文字を
高精度で認識



- ✓ 手書き文字も高精度読取
- ✓ 縦書き読取にも対応

Point 2

設定レスで
素早く正確に情報抽出



- ✓ 読取領域の事前設定不要
- ✓ あらゆる非定型書類に対応

Point 3

カスタマイズ対応
オンプレミス型OCR



- ✓ オンプレミス型で高セキュア
- ✓ お客様専用モデルを提供

- 設定不要

63

持続可能な開発目標（SDGs）達成のために、社会貢献が不可欠。
現在、SDGsの全17ゴールのうち、特に関連が深い、以下を優先ゴールとして特定。

優先すべきゴール

8 働きがいも
経済成長も



- 生成AIと画像認識を用いた図面・文書解析ソリューションにより、検図・確認といった専門業務の省力化と労働生産性の向上に貢献します。
- 製造業や建設業をはじめ、人手不足が深刻な産業の業務効率化を支援し、限られた人材でより高い付加価値を生み出す働き方の実現を後押しします。
- 人の判断を代替・補助するAIの提供を通じ、技術革新による生産性向上という経済成長の基盤づくりに貢献します。

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



- ディープラーニング・機械学習を用いた画像認識アルゴリズムを自社開発し、産業の技術基盤の高度化に貢献します。
- 限られた計算資源で動作する組込み（エッジ）向け画像認識技術を強みとし、車載・IoT等の幅広い領域への実装を通じて「モノのインテリジェント化」を推進します。
- 研究開発と技術人材を競争力の源泉と位置づけ、継続的なR&D投資により国内の画像認識技術の発展に貢献します。

11 住み続けられる
まちづくりを



- 先進運転支援（ADAS）およびドライバーモニタリング（DMS）向けの画像認識技術により、交通事故の低減と、誰もが安全に移動できる環境の実現に貢献します。
- 自社技術が量産車両に実装されることで、研究開発の成果を実社会の安全性向上へ還元しています。
- 安全な移動を支える基盤技術の提供を通じ、持続可能で住み続けられる地域社会の形成に寄与します。

本資料の取扱いについて

- ・本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意下さい。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ・また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- ・当資料のアップデートは本決算の発表時期を目途として開示を行う予定です。なお、次回の発表は、2027年9月頃を予定しております。